

「麻疹（はしか）」は 世界で流行している感染症です。

海外に行く方で、麻疹（はしか）にかかったことが明らかでない場合

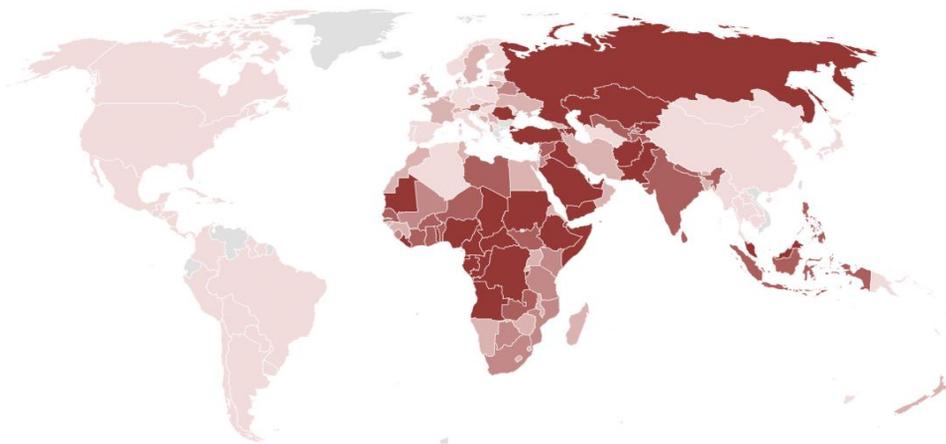
海外に行く前に

- 麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
- 2回接種していない方は、予防接種を検討してください

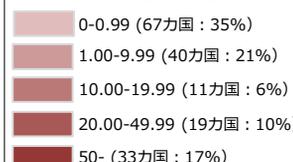
世界における麻疹の流行状況 (令和5年1月～令和5年12月)

麻疹人口あたり報告数 上位10の国々

国名	報告数	人口100万人 あたり 報告率
イエメン	47767	1386.57
アゼルバイジャン	13735	1319.07
キルギスタン	13195	1045.83
カザフスタン	15111	770.71
リベリア	3910	721.62
ガボン	1201	492.91
中央アフリカ	1534	267.14
カメルーン	6101	212.97
イラク	9367	205.85
アルメニア	554	199.43



人口100万人あたり麻疹報告率



出典：WHO(世界保健機関) 麻疹 人口10万人あたり報告率
(令和6年2月現在；一部改変)

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>

詳しくは
こちら

🔍 麻疹について 厚労省 検索

厚生労働省
麻疹について ▶



「麻疹（はしか）」は 世界で流行している感染症です。

海外に行った方で、麻疹（はしか）にかかったことが明らかでない場合

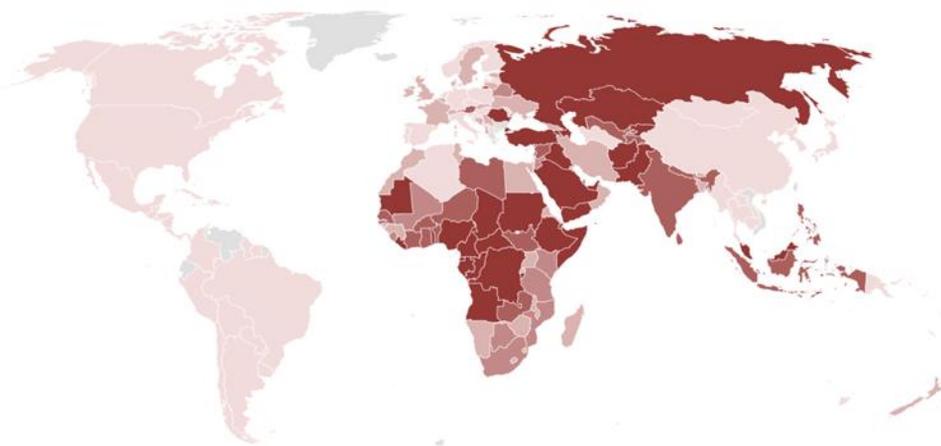
帰国した後に

- ✓ 帰国後2週間程度は健康状態（特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状）に注意しましょう

世界における麻疹の流行状況 (令和5年1月～令和5年12月)

麻疹人口あたり報告数 上位10の国々

国名	報告数	人口100万人 あたり 報告率
イエメン	47767	1386.57
アゼルバイジャン	13735	1319.07
キルギスタン	13195	1045.83
カザフスタン	15111	770.71
リベリア	3910	721.62
ガボン	1201	492.91
中央アフリカ	1534	267.14
カメルーン	6101	212.97
イラク	9367	205.85
アルメニア	554	199.43



人口100万人あたり麻疹報告率

0-0.99 (67カ国 : 35%)
1.00-9.99 (40カ国 : 21%)
10.00-19.99 (11カ国 : 6%)
20.00-49.99 (19カ国 : 10%)
50- (33カ国 : 17%)

出典：WHO(世界保健機関) 麻疹 人口10万人あたり報告率
(令和6年2月現在；一部改変)

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>

詳しくは
こちら

🔍 麻疹について 厚労省 検索

厚生労働省
麻疹について ▶



麻しん（はしか）は ワクチン接種が予防に有効です！

麻しんは、麻しんウイルスが感染しておこる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、日頃から麻しんのワクチン（一般的にはMRワクチン）を受けていることが、予防に最も有効です。

定期接種を受けましょう！

《定期接種を受けましょう》

- ◎ ワクチンを1回接種することで、95%以上の方が麻しんに対する免疫がつくと言われてしています。
- ◎ 確実な免疫を得るためには、99%以上の方が免疫がつくとされる2回の接種がのぞましいとされています。
- ◎ 接種歴は、母子健康手帳で確認できます。

《ワクチンを接種した方がいい？》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻しんと診断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

《以下、特にご注意ください》

- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方で、麻しん患者と接触し、1～2週間（約10日間）経ってから発熱、せき、のどの痛み、眼が赤くなるなどの症状が出てきたら、麻しんの可能性があります。麻しんの可能性がある旨、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにしてください。



麻しん・風しん
(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou21/index.html



麻しん（はしか）に関する
Q & A（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>



麻疹とは
(国立感染症研究所)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/disease/s/ma/measles.html>